

たふい

No. **213**

2024. 8

議会だより



令和6年第2回定例会(6月)

審議・議決内容

常任委員会

一般質問

議決結果

2

4

6

11



第2回
定例会

令和6年度垂井町一般会計補正予算 歳入歳出予算の総額 101億3,999万5千円

令和6年度一般会計補正予算が上程・審議されました。歳出予算の主な内容は、以下のとおりです。



●生活支援給付金等給付事業 2億8,322万1千円を増額

「生活支援給付金」	1億810万円
「調整給付金」	1億6,527万円
※給付事業経費	985万1千円

・「生活支援給付金」給付事業

令和6年度に新たに住民税所得割非課税等となった世帯に対して、1世帯10万円、当該世帯の子ども1人につき5万円を支給する事業。

・「調整給付金」給付事業

納税者及び配偶者を含めた扶養親族1人につき令和6年分の推定所得税で3万円、令和6年度分の個人住民税で1万円の減税を行う定額減税の実施に伴い、定額減税可能額よりも税額が少ない場合に、定額減税しきれない「差額相当分」を給付する事業。



●提案型地域活性化事業補助金 85万円の増額

提案型地域活性化事業補助金の申請者数が増加したことから、町合併70周年を祝うため補助金に要する費用を追加しました。



●民間木造住宅耐震診断業務委託料 47万3千円の増額

民間木造住宅耐震診断についての相談件数が増加したことから、耐震診断業務に要する費用を追加しました。

6月定例会は、6月5日から14日までの会期10日間で開かれ、専決処分承認、条例改正、補正予算、工事請負契約の締結など、町長提出議案13件を審議・議決しました。また、一般会計繰越明許費の報告、町土地開発公社の経営状況の報告が行われました。



垂井町一般会計繰越明許費の報告について 令和6年度に8事業を繰り越し

●定額減税対応システム改修事業	323万9千円
●マイナンバーカード記載事項変更に係るシステム改修事業	1,091万2千円
●生活支援給付金給付事業	9,142万4千円
●第3期子ども・子育て支援事業計画策定事業	350万円
●新型コロナウイルスワクチン接種事業	175万5千円
●林道明神線開設事業	3,511万5千円
●ビジネス拠点施設整備等事業	2億3,600万円
●表佐80号線路側改良事業	675万円

繰越明許費

歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用する経費をいいます。

第2回定例会



垂井町ビジネス拠点施設の設置及び管理
に関する条例の制定について

施設の名称は コネクトベース垂井

地域経済を活性化するため、旧東保育園施設を改修したビジネス拠点施設の整備を進めており、施設運営に必要な条例の制定について、議会において審議し、可決しました。

当施設は、特に町外からの事業者を誘致するためのサテライトオフィスや創業における拠点、テレワークのためのコワーキングスペースを整備した施設です。本年12月の供用開始を予定しています。

●ロゴマーク

漢字の「人」をモチーフにして、人が集って繋がり、輝く様子を表現しています。



CONNECT BASE TARUI



けやきの家改修工事請負契約の締結について

就労継続支援B型の 定員を増員

当施設は、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に規定する生活介護及び就労継続支援B型の多機能事業を実施しており、このうち就労継続支援B型の定員を10人から20人に増員することから、施設の整備が行われます。また、利用者の利便性の向上と安全性の確保を図るため、エレベーターの新設が予定されています。

施設整備に向けた改修工事の事業者を選定する入札が行われ、予定価格が一定金額を超えることから、議会において当該工事契約の締結について審議し、可決しました。

- 契約相手方 平成興産株式会社
- 契約金額 9,185万円
- 工事完了期限 令和7年2月17日



岐阜県後期高齢者医療広域連合の処理する事務及び規約の変更に関する協議について

県後期高齢者医療広域連合の処理する事務及び規約を**変更**

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、令和6年12月2日から被保険者証及び資格証明書が発行されなくなります。

そのため、被保険者の資格に係る情報については、資格確認書や資格情報のお知らせなど、厚生労働省令で定める事項を記載した書面の交付等により被保険者に提供することになることから、岐阜県後期高齢者医療広域連合の構成市町である本町でも、議会においてその処理する事務及び規約の変更に関する協議について審議し、賛成多数で可決しました。

●賛成討論

高齢者医療に関する事務は、岐阜県後期高齢者医療広域連合において処理されており、今回の見直しについても、構成市町のそれぞれの市町村において、変更の議案が上程され、統一的に進められている。今回の規約の変更がなければ、マイナ保険証制度への移行が困難になる点も踏まえ、高齢者医療の円滑な運営や高齢者の方々が安心して医療を受けていただく環境整備、またDXの推進のためにも、本議案に賛成するもの。

●反対討論

マイナ保険証は医療機関に設置されたカードリーダーで、患者本人かどうかを確認するオンライン資格確認を行うのが最大の特徴であるが、受診回数が少ない若い世代や、パソコン操作が苦手な高齢者らには、メリットを感じにくいのが現状である。さらに、マイナ保険証をめぐるトラブルも発生しており、保険証の廃止を強行すれば、大混乱に陥るのは必至と考えるため、本議案に反対するもの。

6月定例会の審議議案と議員の賛否については、11ページをご覧ください。

総務産業建設委員会



委員長 中村 ひとみ



総務産業建設委員会では、総務課、企画調整課、税務課、建設課、都市計画課、産業課、選挙管理委員会、監査委員及び農業委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。

町営住宅の活用

- Q. 町営住宅の空き室はどれくらいか。空き室を活用できるよう、収入制限を緩和してはどうか。
- A. 空き室は約40%である。収入制限の緩和は難しいが、空き室の活用については検討していきたいと考えている。

宮代地内の都市計画の変更

- Q. 役場庁舎周辺の都市計画変更に係る進捗状況は。
- A. 都市計画の変更については、来年の春を目指しており、現在、市街化区域への編入や地区計画の指定、用途地域の変更について、県と協議中である。6月末には住民説明会を開催する。

ビジネス拠点施設の利用促進

- Q. 他市町ではビジネス拠点施設の利用率が下がっているという話もあるが、利用率を上げるための手法は。
- A. コミュニティマネージャーの配置を予定しており、その役割には企業誘致も含まれている。町が持っている情報等も活用しながら、企業に対してPRしていく。

町消防団のあり方検討委員会

- Q. 町消防団のあり方検討委員会の設置目的は。
- A. 消防団員を確保することが難しい状況であるが、消防団組織は重要な役割を担っている。今後も消防団組織を維持していくために、検討委員会でそのあり方について必要な検討をしていきたい。

C I O補佐官委託業務

- Q. C I O補佐官の力を活用して、どのようにDXを推進していくのか。
- A. DXを推進していくための方法は様々あるが、垂井に合ったDXを推進していくことが重要である。C I O補佐官の知恵を借りて取り組んでいく。

個人住民税定額減税

- Q. 定額減税の調整給付金とは。
- A. 定額減税は、住民税所得割額の納付義務者が対象であり、納税義務者及び扶養親族等1人につき1万円が減税される。減税しきれない場合は、調整給付金として支給される。

その他の協議・報告事項

○財務書類4表の報告	○庁舎敷地の急速充電器の設置
○組織機構再編プロジェクトチームの設置	○能登半島地震に係る人的支援状況
○令和5年度 町税の収納状況	○農地の効率的な集約に向けた地域計画の策定
○比女町営住宅の火災	○朝倉運動公園パークマネジメント事業 など

文教厚生委員会



委員長 藤墳 理

文教厚生委員会では、健康福祉課、子育て推進課、住民課、上下水道課及び教育委員会の担当事業に関する内容について調査研究を行っています。

※条例改正により、令和6年度から上下水道課は文教厚生委員会の所管になりました。



小中学校プールの状況

- Q. 各小中学校のプール施設の老朽化状況は。
- A. 今年度、各小中学校のプール用ろ過機等改修工事を行っている。授業内容等も検討しながら、必要な範囲でプールの修繕を実施していきたいと考えている。

文化財の整備方針

- Q. 美濃国府跡や菩提山城跡の整備について、今後、バーチャル等「D X」の活用は検討されているか。
- A. それぞれの文化財の事業が終わり次第、整備方針について検討していきたいと考えている。

浄化センター用地利活用事業

- Q. 浄化センター調整池を太陽光発電設備用地として貸し付けるメリットは。
- A. 調整池を有効活用することにより、土地の賃借料収入や、草刈りのための管理経費の削減が見込める。また、固定資産税(償却資産)の収入も見込める。

クリーンセンターのあり方

- Q. クリーンセンターのあり方について進捗状況は。
- A. 今年度、クリーンセンターの整備方針を検討するため、支援業務を委託する。最適なごみ処理施設の形態を調査するなど、今後のごみ処理のあり方を検討していく。

子育て支援に関する連携協定

- Q. 「コープぎふ」との連携協定の内容は。
- A. 安心して子育てできる環境づくりを推進するため、子育て家庭の見守り活動や子育て支援に関する広報活動などについて、幅広く連携を図っていく。

ふれあい長寿フェア

- Q. 町合併70周年であることから、記念品を配布されるのか。
- A. 記念品の配布は予定していないが、喜寿、米寿、白寿の方や80歳以上の方への長寿お祝い商品券については、500円増額してお贈りする。

その他の協議・報告事項	
○町健康福祉総合計画の策定	○医療的ケア児の受け入れ体制の整備
○病児・病後児保育所の開設	○汚水処理施設整備構想策定業務
○東小校舎長寿命化改修工事	○中学校部活動の地域移行
○国民健康保険及び後期高齢者医療保険に係る被保険者証の一斉更新 など	



町の考えを

一般質問とは、議員が町長ほか執行部に
対して、町政全般にわたり質問・要望を述
べることをいい、各定例会において行われ
ます。

6月定例会では、9人の議員が登壇し町
政課題への提言や質問を行いました。

紙面の都合上、質問と答弁を要約した内
容を掲載しています。

議員名の下のQRコード
を読み取ると、動画を見る
ことができます。



▲運用方針はこちらから

問う

議員名	内 容
江上 裕子	○「学びを支える環境づくり」の一環として、公共施設における学習スペースについて
藤 理	○垂井町DX推進計画を問う
水野 忠宗	○町まちづくりセンターについて
山田 成利	○多文化共生の推進について
中村ひとみ	①多文化共生社会の推進のため「やさしい日本語」の活用について ②「大規模災害に備える携帯トイレの備蓄」の推進について ③非正規公務員の賃上げの遡及改定について
富田 栄次	①表佐に谷崎潤一郎の爛柯亭・細雪(蚩狩り)文学碑の設置を ②認知症の人が安心して暮らせる垂井町に向けて行方不明を防ぐ・見つける
鈴木 準二	①竹中氏陣屋跡(櫓門)周辺の整備について ②菩提山城跡ハイキングコースの整備について
中川 泰一	○町消防団消防車に搭載している無線機について
小宅 宏	①能登半島地震から考える～地震大国、日本に原発はいらない ②本町は、地震災害の極めて危険な位置に存在しており、その対策が必要



江上 裕子 議員

問

「学びを支える環境づくり」の一環としての公共施設における学習スペースについて

答

各公共施設のマナーやエチケットに配慮しながら改善を図る

問 タルイピアセンターの学習室について、少しの工夫で今以上に学びやすい環境作りができるのでは。

答 生涯学習課長 学習室では、幅広い年齢層の方が読書や学習に集中して取り組まれており、私語などを交わさず静かに利用されている。また、この学習室では、そうした静かな環境の中で学習に向かわれている方と同様、集中して学習に向かう姿勢が養われ、学習効果を上げていただきたいとの願いからであり、ミラーニューロンの効果に期待した配慮である。夏季休業中などは学生の利用が多くなることから、今後は集会所も学習に利用できるよう工夫していきたいと考えている。

問 図書館以外の公共施設における学習スペースの現状と今後は。

答 生涯学習課長 ワイワイプラザ垂井の館内には、机やイスを準備しており、ワイワイと話しながら学習することができ、気分転換ができる遊具やカフェも準備しているため、学習の場としての活用も大いに期待している。また、WiFi環境も整っていることから、タブレットを活用した学習も可



YouTubeは
こちらから

能である。夏季休業中などに部屋が空いていれば、個人学習のための静かな空間や、教え合い・学び合いなどのグループ学習ができる空間として利用できるような配慮も検討していく。学習スペースとしての今後の活用状況や利用者アンケートの内容を参考にし、改善を図っていく。

問 現在住んでいる方と、移住してきた方の両方が楽しめる地域の施設づくりに着目して見直しを進めると、よりよい場所になるのではないかと。

答 生涯学習課長 人口減少が進む中では、移住してきた方や、高校生が友達を垂井町に呼んで一緒に学習をするというようなことも地域を活性化することでは重要である。ワイワイプラザ垂井は、駅から徒歩5分という好立地に建っているため、そういったことも含め、現在住んでいる方にとっても、移住してきた方にとっても環境のいい学習の場となるよう今後進めていく。



藤埴 理議員



YouTubeは
こちらから

問 本計画の見直しのタイミング、判断基準は誰が決めるのか。
企画調整課長 現状把握から迅速に意思決定を行い、実行に移すことが重要であるため、計画期間

問 垂井町DX推進計画を問う

答 限られた財源の中で効果的にDXを推進し、地域幸福度を向上させる

内においても柔軟に見直すことができることとしている。その意思決定は、行財政改革推進検討委員会で検討し、課長級以上で構成される経営統合会議において決定する。

問 専任職員の登用は考えているか。
企画調整課長 副町長をCIO（最高情報統括責任者）とし、CIOを補佐するCIO補佐官を2名（1人は企画調整課長、もう1人は専門的知識を有する民間のデジタル専門人材）配置することとしている。このため、令和6年4月22日付で民間企業と業務委託契約を締結し、CIO補佐官を決定した。

問 DXを活用するための町民への周知方法は、企画調整課長 DXの取組の進捗状況は、広報たのいや町ホームページ、プレスリリースを行いながら、広く町民に周知していく。特に町民のみなさんの手続等に直接影響がある場合は、適切な時期と方法によりしっかりと周知に努める。

問 2027年度末までに計画は完了するか。
企画調整課長 全ての取組を本計画期間内に完了させるというものではなく、柔軟に見直しを行うことを前提としながらDX推進に取り組んでいく。

問 町長の意気込みと展望は。
町長 DX推進は町民のみなさんをはじめ職員の幸福度や満足度をより向上させることが目的。その目的を達成するため、デジタルを活用したり、業務の改善を図ったりといった手法を取り入れていく。限られた財源の中で、効果的にDXを推進し、地域幸福度の向上につなげていきたいと考えている。



問 庁舎東館改修工事基礎調査等業務の結果は。
総務課長 構造体への超音波探傷試験では、多くの箇所が不合格となり、外観目視調査では防水部材の劣化などにより鉄骨の腐敗や外壁の損傷があった。この調査結果により、防水や防錆など必要な補修をしながらこれまでどおりの用途で活用することはできるが、用途変更を計画する場合に、構造計画や大規模改修などに多くの費用が必要となる。

答 誰もが気軽に立ち寄り相談できる体制を整える

問 町まちづくりセンターについて



水野 忠宗議員



YouTubeは
こちらから

問 町まちづくりセンターを旧垂井地区まちづくりセンターにいつまで置かれるのか。また、利用状況は。
企画調整課長 現在、町商工会と共同で建物を使用し管理しているが、町商工会は、旧東保育園ビザネズ拠点施設への移転が計画されており、この移転のタイミングにあわせ、町まちづくりセンターの位置についても検討していく。また、利用状況について、貸館業務は行っていない。訪問者は、各地区まちづくり協議会の方や地区まちづくりセンター職員などの関係者が事務的な手続のため訪れるほか、町に登録されているまちづくり住民活動団体の方が自主イベントなどの啓発のため、広報たのいのまちづくり伝言板への掲載申請に來たり、団体の方が年に一、二回相談に來たりする。

問 町まちづくりセンターは誰もが訪れやすい施設であることが大切だと考えるが。
企画調整課長 各地域の課題や分野別の課題などに対して、住民や団体のみなさんが主体的に取り組むために、相談と助言、情報収集と提供、人材育成などの役割を担っていくことが重要であるとされており、誰もが気軽に立ち寄り相談ができる体制を整えていく。

問 町まちづくりセンターと生涯学習課の連携が必要ではないか。
生涯学習課長 まちづくりを進めていく中で、社会教育の位置付けは非常に重要であると考えているため、今後も地区まちづくり協議会をはじめ町まちづくりセンターと相互に協力、連携しながら進めていく。



山田 成利 議員



YouTubeは
こちらから

問 多文化共生の推進について

答 地域で活躍している団体と連携し、多文化共生の推進に取り組む

問 本町における「多文化共生推進指針」の作成状況や今後の考えは。

企画調整課長 第6次総合計画のテーマ別戦略において、「多文化共生社会の実現のため、社会環境の整備と、教育と啓発の充実に取り組む」としており、また、町人権施策推進指針(第2次改定)では、相互理解を深める交流活動の推進、出前講座等の推進、国際理解教育の推進、外国人のための日本語講座等の促進などが掲げられている。今後、町計画や県の基本方針などに基づきながら多文化共生の推進に取り組んでいく。

問 多言語対応の体制を強化する考えは。

企画調整課長 毎週水曜日の午前中、ポルトガル語通訳窓口を開設している。また、令和5年度から「カタログポケット」というアプリを導入し、広報たるいやハザードマップ、ごみの出し方について多言語で閲覧できるようにしている。そのほか、県在住外国人相談センターでは、15言語以上での電話相談を受け付けており、相談者と役場とセンターの3者間通話ができる支援もある。現在、これらを活用しながら外国籍の方への支援に取り組んでおり、今後も多言語機能の体制強化に取り組んでいく。

組んでいく。
問 今後、多文化共生に貢献されている団体とどのように連携し、推進していくか。

企画調整課長 今年度は、町が垂井地区まちづくり協議会に委託し、たるい日本語教室を実施している。また、町内の国際交流団体、メルボルン倶楽部が行政提案型協働事業の採択を受けて多文化共生交流会を計画している。今後も地域で活躍している団体と連携しながら多文化共生の推進に取り組んでいく。

問 多文化共生社会の長期的な取組について、どのように考えているか。

町長 外国の方がその地域を選び、そこに長く住みたいか否かについては、日本人側の意識が大きく関与すると認識している。トラブル等の発生を想定したとき、どう歩み寄るかが非常に大切になってくる。今後も地域で活動される団体のみならずとしっかり連携を深め、多文化共生の推進に引き続き取り組んでいく。

問 多文化共生社会の推進のため「やさしい日本語」の活用について

答 全ての人にやさしい窓口やホームページづくりに努める



中村ひとみ 議員

問 やさしい日本語の活用を民間レベルで進めることが重要と考えるが。

企画調整課長 まずは職員がやさしい日本語を学び、外国籍の方のみならず、子どもや高齢者など全ての人に分かりやすく、やさしい窓口にしていくことが大切であると考え

問 「大規模災害に備える携帯トイレの備蓄」の推進について

答 引き続き災害用トイレの充実に取り組む

問 適切な携帯トイレの使用等方法を避難所運営マニュアル等へ反映すべきと考えるが。

企画調整課長 令和4年4月に改訂した町避難所運営マニュアルでは、既設トイレを活用した携帯トイレ・簡易トイレの使用等方法などについて掲載している。

問 介護福祉施設における携帯トイレ等の備蓄状況を確認し、支援するべきと考えるが。

健康福祉課長 事業所に

る。また、本町のホームページには、やさしい日本語に変換する機能を取り入れているが、先進

事例を参考にし、外国籍の方のみならず全ての人にやさしいホームページづくりに努めていく。

よって様々であるが、おおむね備蓄はされている。公助のための行政備蓄を優先しながら、福祉施設を含めた自助・共助による備蓄の在り方について検討していく。

問 トイレトレーラーの整備を積極的に検討しては。

企画調整課長 トイレ対策の一つとして大変有効である認識している。今後、整備されている自治体の事例を参考にしながら、調査・研究していく。

その他の質問

● 非正規公務員の賃上げの週及改定について



YouTubeは
こちらから



富田 栄次議員



YouTubeは
こちらから

問 蛭狩り・細雪文学碑を
設置できないか。
教育長 地域のみなさん
から要望があれば、地域
のみなさんと十分協議を
しながら、ハリヨの里に
細雪の紹介や蛭狩りの場
面の表現を位置付けた案
内表示板などの設置につ
いて検討していきたいと
考えている。

問 表佐に谷崎潤一郎の爛柯亭・
細雪(蛭狩り)文学碑の設置を

答 要望に応じて案内表示板などの
設置について検討する

問 認知症の人が安心して暮らせる
垂井町に向けて
行方不明を防ぐ・見つける

答 安心して暮らすことができる
ように認知症対策事業を進める

問 認知症の行方不明者
に対して、どのように対
応されているか。
健康福祉課長 事前の対
策が重要であると考えて
おり、認知症対策を推進
するため認知症高齢者等
の見守り支援事業として、
「どこシル伝言板を活用
した見守りシールの交付
事業」「GPS機器の購入
等に対する助成制度」を
行っている。今年度から
「個人賠償責任保険事業」
も開始した。

問 GPS発信機の選
び方は。
健康福祉課長 どのタイ
プのGPS機器を選択す
るのかは、本人のライフ
スタイルや性格などの状
況に合わせることで大切
である。地域包括支援セ
ンターではGPS機器を
タイプ別に整理しながら
本人により適した機器を
選んでいただけるよう努
めているので、お気軽に
相談していただきたい。

問 GPS機器を貸与す
る事業を行っている自治
体があるが、本町も実施
しては。
健康福祉課長 本人のラ
イフスタイルなどに合っ
た機器を選択できないと
いうデメリットがあるが、
機器を選ぶ手間が省け、
手続も簡素であるという
メリットがある。貸与方
式を一つの選択肢と捉え、
必要な方がより利用しや
すい制度を検討していく。



鈴木 準二議員

問 竹中氏陣屋跡（櫓門）周辺の
整備について

答 まずは竹中氏陣屋跡の全体像と、
その歴史的価値を把握するため
の調査が必要である



YouTubeは
こちらから

問 菩提山城跡ハイキングコースの
整備について

答 地元と協力し、安全かつ快適に
利用できるように継続的に整備
する

問 ハイキングコースの
整備は地域と協働で積極
的に進めていく必要があ
ると考えるが。

町長 菩提山城跡は国の
史跡指定を目指しており、
ますます注目され、登山
者が増えることも予想さ
れるため、今後とも登山
路愛護会や、岩手地区ま
ちづくり協議会、竹中半
兵衛重治公顕彰会と協力
し、安全かつ快適に利用
いただけるように整備を
していく。

産業課長 菩提山城跡や
ハイキングコースの整備
は毎年度行っており、簡
易な整備については、地
元の菩提山登山路愛護会
へ委託している。また、
令和3年度に行った菩提
山城跡解説看板取替修繕
は、地元から城の縄張り
について、解説付きの看
板を設置してほしいとい
う要望をいただき、看板
は町で作成し、設置は菩
提山登山路愛護会で実施
していただき、地元と協
働で行った。





中川 泰一議員



YouTubeは
こちらから

問 町消防団消防車に搭載している無線機について

答 地域の防災通信体制の強化に努める

問 垂井町の消防車はデジタル通信システムに移行されているか。

企画調整課長 火災や災害現場において、不破消防組合と消防団相互の連絡を密にし、消火活動や災害応急対策を緊急かつ円滑に推進するため、防災行政無線設備を整備して

おり、各分団車両には車載型無線機を搭載している。搭載されている400メガヘルツ帯の旧スプリアス規格で使用するアナログ方式の無線設備については、総務省が規定する新スプリアス規格必要周波数の外側で発射される不要な電波の許容値に適合した無線設備への移行が求められている

が、新型コロナウイルス感染症による社会経済への影響等により、移行期限は延長されている。

問 無線機が傍受しやすいように中継基地局を配置し、通信エリアの拡大が期待できるデジタル通信システムの導入を検討しているか。

企画調整課長 本町の移動系防災行政無線設備は、製造から35年以上が経過した車載型無線機などを使用しており、機器の老朽化が著しいため、文字表示やデータ伝送など通信機能の向上、通信エリアの拡大、音質の改善などの特徴を生かした260メガヘルツ帯で使用するデジタル方式へ更新す

るため、本年5月に調査設計業務を開始した。この業務の中で、現在の無線設備に見られる通信状況の不具合について、改めて電波調査等を行い、中継基地局の検討やキャリア網を活用したIP無線などの併用など、事業費の比較検討も行いながら、デジタル方式の更新に併せて改善ができるよう検討を進める。

問 災害時に消防団員を招集する方法は。

消防主任 常備消防職員が使っている参集メールシステムの中に、各消防団の部長以上を登録しており、火災が発生した際には、町の同報系の防災行政無線と併せて、そのメールを配信している。

問 各消防団の部長以上から各団員にはどのように配信されているか。

消防主任 班長以下への配信方法は現在統一されていないが、各分団でLINEを活用するなど対応している。



問 能登半島地震から考える～地震大国、日本に原発はいらない

答 国の責任において検討すべき重要なことと認識している

の責任において検討すべき重要なことと認識している。このことについて、私たちも意見を述べていくことは大切であると認識している。

問 原子力災害が発生した場合、避難経路と避難場所に放射性物質が何分まで到着するか。

企画調整課長 放射性物質が何分まで到達するのかのシミュレーションは

問 本町は、地震災害の極めて危険な位置に存在しており、その対策が必要

答 被害をできる限り縮減・軽減できるように、安全・安心のまちづくりを努める

問 耐震化の到達点と耐震化促進策は。

都市計画課長 町耐震改修促進計画において、住宅の耐震化率を令和7年度までに95%とすること



小宅 宏議員



YouTubeは
こちらから

を目標にしているが、本町の耐震化率は、67%であり、住宅の耐震化が思うように進んでいない現状である。耐震化促進策として、昭和56年以前の耐震基準で建てられた耐震性の低い木造住宅について、無料の耐震診断や、101万9,000円を上限とする耐震補強工事に係る補助を行っている。

行っていない。県が策定する原子力災害に係る岐阜県市町村広域避難指針に基づき、国または県により屋内避難を行うべきとの指示が示された場合は、対象となる地域の人数、世帯数、年齢構成、要配慮者数等を踏まえ、県と共に総合的に対応を検討し、県や関係機関等と連携し、支援を得ながら避難を実施する。

6月定例会 審議議案と議員の賛否

上程議案・概要 賛成：○ 反対：× ※「－」は議長のため採決に加わらない	結 果	江 上 裕 子	中 川 泰 一	水 野 忠 宗	渡 辺 保 彦	小 宅 宏	鈴木 準二	山 田 成 利	広 瀬 隆 博	乾 豊	若 山 隆 史	藤 壇 理	中 村 ひ と み	富 田 栄 次
条例														
垂井町情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の制定について 垂井町DX推進計画の実現に向け、条例及び規則に基づく行政手続についてオンラインによる手続が可能となるよう必要な事項を定めるもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
垂井町ビジネス拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について 旧東保育園舎を改修し、新たに「垂井町ビジネス拠点施設」を設置するため、公の施設の設置及び管理に関する事項について必要な事項を定めるもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
垂井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の公布に伴い、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
垂井町下水道条例の一部改正について 国におけるデジタル原則に照らした規制の一括見直しプランに基づくアナログ規制の見直し及び下水道法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
垂井町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準を定める条例の一部改正について 生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の公布に伴い、所要の改正を行うもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
予算														
令和6年度垂井町一般会計補正予算(第1号) 3億999万5千円を追加し、予算総額を101億3,999万5千円とするもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
令和6年度垂井町介護保険特別会計補正予算(第1号) 69万6千円を追加し、予算総額を27億7,069万6千円とするもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
その他														
専決処分の承認について 地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、垂井町税賦課徴収条例の一部を改正する条例を専決処分したため議会に報告し、承認を求めるもの。	全員賛成 で承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
専決処分の承認について 火災により比女町営住宅7号が焼失したことに伴い、垂井町町営住宅条例の一部を改正する条例を専決処分したため議会に報告し、承認を求めるもの。	全員賛成 で承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
岐阜県後期高齢者医療広域連合の処理する事務及び規約の変更に関する協議について 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の公布に伴い、所要の改正を行うもの。	賛成多数 で可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	－	○	○	○
けやきの家改修工事請負契約の締結について 契約相手方:平成興産株式会社 契約金額:9,185万円	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
旧東保育園ビジネス拠点改修工事請負契約の変更について 契約金額を1億8,348万円から1億9,625万6,500円に変更するもの。	全員賛成 で可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任について 児玉輝昭委員の任期満了に伴い、同氏を再任するもの。	全員賛成 で同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○

東蛇池ため池を見学



6月13日、宮代地内の東蛇池ため池を見学しました。県営ため池等整備事業による改修工事に伴い、ため池の水が抜かれており、普段は見ることはできない池の内部を見ることができました。

不破郡町村議会議長会視察研修会



7月16日、不破郡町村議会議長会視察研修会を開催しました。垂井と関ヶ原の両町の議員は、関ヶ原古戦場の史跡やワイワイプラザ垂井を訪れ、町職員から説明を受けました。

編集後記

本号の表紙は、町内小学校の児童が議場を見学したときの様子です。児童らは職員からの説明を受けた後、議長席や執行部席などに座り、議場の雰囲気を楽しんでいました。

今後も、議会への関心を高めていただくきっかけになるよう、積極的に情報を発信していきます。

広報研究会一同

9月定例会の予定

- 9月4日(水) 議案の提案説明など
- 18日(水) 一般質問
- 20日(金) 議案の審議・議決

議会・議長 活動日誌

5月	
3日(金・祝)	自治功労者表彰式
5日(日・祝)	南宮大社例大祭
11日(土)	各学級・講座合同開講式並びに講演会(議長)
19日(日)	県身体障害者福祉協会不破支部 垂井町分会総会(議長)
20日(月)	第1回西南濃町村議会議長会(議長)
21日(火)	全国町村議会議長・副議長研修会(議長)
23日(木)	特定非営利活動法人こども見守り隊 通常総会(議長)
26日(日)	水防工法訓練 町スポーツ・レクリエーション祭(議長)
27日(月)	町商工会 通常総代会(議長)
29日(水)	議会運営委員会
6月	
1日(土)	町芸術文化協会表彰式及び 春の芸術文化祭(議長)
3日(月)	県町村議会議長会 臨時総会(議長) 県町村議会議長会 第1回評議員会(議長)
5日(水)	第2回定例会第1日 全員協議会
6日(木)	文教厚生委員会 町グラウンド・ゴルフ協会第24回大会(議長)
7日(金)	総務産業建設委員会
12日(水)	第2回定例会第2日
13日(木)	全員協議会 東蛇池ため池見学
14日(金)	第2回定例会第3日
16日(日)	郡消防操法大会 国民平和行進(議長)
26日(水)	郡グラウンド・ゴルフ協会第23回大会(議長) 郡町長会・議長会交流会
28日(金)	議会運営委員会
7月	
4日(木)	町交通安全対策協議会(議長)
5日(金)	第3回臨時会 全員協議会
7日(日)	町民ピンポン大会(議長)
16日(火)	郡町村議会議長会視察研修会
24日(水)	林道明神線開通式 第2回西南濃町村議会議長会(議長)
29日(月)～ 31日(水)	西南濃町村議会議長会県外視察研修(議長)

